



平成 30 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 永 大 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 道 正 人
(コード番号:7822 東証第一部)
問 合 せ 先 経 理 部 長 森 下 昌 樹
(TEL. 06-6684-3020)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 2 四半期におきまして、下記のとおり災害による損失及び固定資産の減損損失を特別損失として計上するとともに、平成 30 年 5 月 11 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 台風被害による損失の計上について

平成 30 年 9 月 4 日に近畿地方を襲った台風 21 号により、当社大阪事業所（堺市西区）において浸水被害や建屋の破損、設備の損壊、たな卸資産の被害等が発生したため、災害による損失として 963 百万円を第 2 四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の特別損失に計上いたします。なお、災害による損失には、第 3 四半期以降に見込まれる復旧費用等の支出に備えて計上する災害損失引当金繰入額 431 百万円を含めております。但し、現時点で合理的に見積もることが困難な復旧費用等につきましては、災害による損失に含めておりません。

(2) 固定資産の減損損失の計上について

当社が保有する木質ボード事業の固定資産について減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、減損損失として 139 百万円を計上いたします。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,000	1,100	1,200	850	18.77
今回修正予想 (B)	30,530	△30	80	△710	△15.67
増減額 (B - A)	△2,470	△1,130	△1,120	△1,560	—
増減率 (%)	△7.5	—	△93.3	—	—
前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	32,614	885	1,028	728	16.08

(2) 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	68,000	2,700	2,850	2,000	44.15
今回修正予想 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績 (平成 30 年 3 月期)	66,977	2,173	2,407	1,264	27.91

(3) 修正の理由

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、フローリングの基材となる合板やパーティクルボードの接着剤等の高騰、企業間の販売競争が一層激化した影響、さらには台風 21 号による被災もあり、売上高及び営業利益、経常利益は当初の予想数値を下回る見込みとなりました。加えて、上記 1. に記載のとおり災害による損失及び固定資産の減損損失を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初の予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、今回の台風被害が通期連結業績に与える影響は現在調査中であり、現時点では合理的な算定が困難なため、平成 31 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、一旦未定とさせていただきます。被害状況の精査、生産・物流体制の復旧状況等を踏まえた業績予想を策定次第、改めて公表いたします。

配当予想につきましては、現時点で中間配当、期末配当とも平成 30 年 5 月 11 日に公表しました 1 株当たり 8 円 50 銭（年間配当金 17 円）から変更の予定はありません。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上